

平成14年3月期 第3四半期個別財務諸表の概要



平成14年2月21日

会社名 スパークス・アセット・マネジメント投信株式会社 登録銘柄
 コード番号 8739 本社所在都道府県 東京都
 本社所在地 東京都品川区大崎一丁目11番2号ゲートシティ大崎
 問い合わせ先 責任者役職名 取締役 総務経理部長
 氏 名 小須田 建三 TEL (03) 5435-8200
 取締役会開催日 平成14年2月21日 単元株制度採用の有無 有 (1単元 株) (無)

1. 当第3四半期の業績 (平成13年4月1日～平成13年12月31日)

(注) 当第3四半期個別財務諸表の概要の数値は未監査です。

(1) 経営成績

(百万円未満切捨)

	営業収益		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当第3四半期	2,553	(-)	1,122	(-)	1,053	(-)
平成13年3月期	2,760		1,057		1,154	

	当期純利益		1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
当第3四半期	555	(-)	63,578	47	63,001	14
平成13年3月期	688		136,643	11	-	-

(注) 1. 期中平均株式数 当第3四半期 8,730株 平成13年3月期 5,040株

2. 会計処理の方法の変更 有 ・ (無)

3. 営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年第3四半期増減率。但し、四半期については当第3四半期より作成しておりますので、対前年第3四半期比較は行っておりません。

4. 潜在株式調整後平均株数 当第3四半期 8,810株。なお、平成13年3月期において新株引受権付社債の発行及び商法第280条ノ19第2項に基づく新株引受権(ストックオプション)の付与がなされておりますが、当社株式は非上場・非登録であったため期中平均株価が把握できませんでした。よって潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については算定しておりません。

(2) 財政状態

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
当第3四半期	6,379	5,595	87.7	621,784 54
平成13年3月期	5,142	4,629	90.0	532,183 77

(注) 期末発行済株式数 当第3四半期 8,999株 平成13年3月期 8,699株

第3四半期貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	当第3四半期 (平成13年12月31日現在)		前 期 (平成13年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%
流動資産	3,340	52.3	2,226	43.3
現金及び預金	2,128		1,292	
前払費用	59		38	
未収委託者報酬	137		208	
未収投資顧問料	603		330	
繰延税金資産	378		323	
その他	32		33	
固定資産	3,038	47.7	2,914	56.7
有形固定資産 ※1	203	3.2	239	4.7
無形固定資産 ※2	141	2.2	111	2.2
投資等	2,694	42.3	2,562	49.8
投資有価証券	2,196		2,128	
関係会社株式	210		210	
差入保証金	187		103	
保険積立金	56		47	
長期前払費用	7		8	
繰延税金資産	35		64	
繰延資産	—	—	1	0.0
社債発行差金	—		1	
資産合計	6,379	100.0	5,142	100.0
(負債の部)				
流動負債	783	12.3	318	6.2
未払手数料	71		118	
未払金	285		119	
未払法人税等	390		58	
その他	36		22	
固定負債	—	—	193	3.8
社債	—		193	
負債合計	783	12.3	512	10.0
(資本の部)				
資本金	1,096	17.2	930	18.1
資本準備金	705	11.0	396	7.7
利益準備金	22	0.3	12	0.2
その他の剰余金	3,820	59.9	3,377	65.7
当期末処分利益	3,820		3,377	
(うち当期純利益)	(555)		(688)	
その他有価証券評価差額金	△49	△0.7	△88	△1.7
資本合計	5,595	87.7	4,629	90.0
負債・資本合計	6,379	100.0	5,142	100.0

第3四半期損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第3四半期 〔平成13年4月1日から 平成13年12月31日まで〕		前 期 〔平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで〕	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
営業収益	2,553	100.0	2,760	100.0
委託者報酬	543		484	
投資顧問料収入	2,009		2,276	
営業費用及び一般管理費	1,430	56.0	1,703	61.7
営 業 利 益	1,122	44.0	1,057	38.3
営業外収益	7	0.3	111	4.0
営業外費用	77	3.0	14	0.5
経 常 利 益	1,053	41.3	1,154	41.8
特別利益 ※1	—	—	2	0.1
特別損失 ※2	11	0.5	2	0.1
税引前当期純利益	1,041	40.8	1,154	41.8
法人税等	540		295	
法人税等調整額	△54		170	
当期純利益	555	21.7	688	24.9
前期繰越利益	3,264		2,689	
当期未処分利益	3,820		3,377	

財務諸表作成の基本となる重要な事項

1. 資産の評価基準及び評価方法
 - (1) 子会社株式…総平均法による原価法
 - (2) その他有価証券
時価のあるもの…四半期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は総平均法により算定しております)
時価のないもの…総平均法による原価法
2. 減価償却資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産
定率法によっております。
 - (2) 無形固定資産
ソフトウェア(自社利用)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。
 - (3) 長期前払費用
定額法によっております。なお、償却期間については法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。
3. 繰延資産の処理方法
社債発行費及び新株発行費については、支出時の費用として処理しております。
4. リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
5. 消費税等の会計処理方法
税抜き方式によっております。なお、「仮払消費税」及び「仮受消費税」は相殺のうえ、流動資産の「その他」に含めて表示しております。

[注記事項]

(貸借対照表関係)

当第3四半期	前 期
※1. 有形固定資産の減価償却累計額 147 百万円	※1. 有形固定資産の減価償却累計額 105 百万円
※2. 無形固定資産の減価償却累計額 31 百万円	※2. 無形固定資産の減価償却累計額 11 百万円

(損益計算書関係)

当第3四半期	前 期
※1. 特別利益のうち主なもの _____	※1. 特別利益のうち主なもの 固定資産売却益 0 百万円 貸倒引当金戻入益 2 百万円
※2. 特別損失のうち主なもの 有価証券解約損 10 百万円 固定資産除却損 1 百万円	※2. 特別損失のうち主なもの 固定資産除却損 2 百万円